

## 多様な武道等指導の充実 武道推進モデル校 事例報告

<h1>柔道・なぎなた</h1> <p>安全で楽しい柔道・なぎなたの実践を通して、 武道に対する興味・関心を高める授業の展開</p>	<p>南九州市立川辺中学校（鹿児島県）</p> <p>電話番号 0993 (56) 1240 メールアドレス <a href="mailto:kbjlt02@minamikyushu-city.hs.plala.or.jp">kbjlt02@minamikyushu-city.hs.plala.or.jp</a></p>
--	---

### ●実践研究のねらい

- 柔道からなぎなたへとつながる複数種目の武道指導を計画し、共通する礼法や伝統的な考え方、行動の仕方に気付かせ、安全面を重視した段階的な指導によって、それぞれの特性や楽しさに触れさせる学習を目指す。
- 地域指導者と保健体育科教員が連携して役割分担を確認し授業を行うことで、専門性を十分に生かし、限られた時間で効果的な学習を目指す。
- 礼法や技能指導を通して、自他を尊重する態度や学習意欲の向上を目指す。

### ●多様な武道の指導モデル 第1学年（2学級82名）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
種目	柔道										なぎなた					
主な学習活動	オリエンテーション	あいさつ 健康観察 本時の学習の見通し										オリエンテーション	あいさつ 健康観察 準備運動 補助運動 目標の確認 前時の復習			
		準備運動 補助運動 ストレッチ											構え 体さばき			
		基本動作		抑え込みの条件と抑え方・応じ方			固め技の自由練習とごく簡単な試合			技の発表			基本打突		グループ発表会	
		受け身		崩し・体さばきと受け身												
		学習のまとめ														

### ●指導の工夫

- 生徒が見つけたポイントについて、ホワイトボードに提示して整理し、教え合い学習の際に振り返って、他者に分かりやすく伝えられるようにする。
- 動きをタブレットで撮影することによって、後で自分の動きを映像で確認し、意見やポイントを発表したり、意見を交換したりすることができるようにする。
- 障害物や畳の隙間など場の安全確認、グループの作り方、女子への心理面の指導、段階的な指導（低→高、弱→強等）、生徒間の距離など危険がないように努める。
- 地域指導者と指導の在り方について事前に共通理解を図る。

## ●授業の様子



### 【柔道の授業】

受け身の学習において、導入で見本の動きを実際に見た後、タブレットで撮影した映像を再度見て、技のポイントを確認した。



### 【なぎなたの授業】

地域指導者による模範演技等で所作の美しさを体感し、その後、一人一本なぎなたを持ち、基本的な構えや打突について学習した。

## ●生徒の意識，感想，変容など

<p>1 なぎなたの授業は楽しかったですか。</p>	<p>2 柔道・なぎなたを学習したことで武道への関心は高まりましたか。</p>	<p>3 これからも多くの武道種目を学習したいと思いますか。</p>																				
<table border="1"> <tr><td>■楽しかった</td><td>75%</td></tr> <tr><td>■やや楽しかった</td><td>21%</td></tr> <tr><td>■楽しなかった</td><td>4%</td></tr> </table>	■楽しかった	75%	■やや楽しかった	21%	■楽しなかった	4%	<table border="1"> <tr><td>■高まった</td><td>84%</td></tr> <tr><td>■高まらなかった</td><td>12%</td></tr> <tr><td>■分からない</td><td>4%</td></tr> </table>	■高まった	84%	■高まらなかった	12%	■分からない	4%	<table border="1"> <tr><td>■思う</td><td>55%</td></tr> <tr><td>■やや思う</td><td>39%</td></tr> <tr><td>■あまり思わない</td><td>3%</td></tr> <tr><td>■思わない</td><td>3%</td></tr> </table>	■思う	55%	■やや思う	39%	■あまり思わない	3%	■思わない	3%
■楽しかった	75%																					
■やや楽しかった	21%																					
■楽しなかった	4%																					
■高まった	84%																					
■高まらなかった	12%																					
■分からない	4%																					
■思う	55%																					
■やや思う	39%																					
■あまり思わない	3%																					
■思わない	3%																					
<p>○ 初めてなぎなたを持って、とても長くて難しそうだと思っていたけれど、実際に教えてもらいながらするととても楽しくできた。(生徒の感想)</p>																						

## ●成果と課題

- 柔道となぎなたを組み合わせた学習は、「礼法」や「行動の仕方」などに共通する点を見出すことができ、柔道やなぎなたに興味を持つ生徒が多くいた。特に「左座右起」など「礼法」の習得はスムーズに行えた。
- 地域指導者の専門性が高く、丁寧で分かりやすい指導や迫力ある示範を見ることで意欲向上につながった。
- 「こわい」「危険」等、武道へのマイナスイメージが、「楽しい」「またやりたい」等の親しみやすいものであるというプラスイメージに変わった。
- ICT 機器の活用はメリットも大きいですが、準備や使用に時間がかかる点を考慮しなければならない。
- 人数分のなぎなたの確保、地域指導者との打合せ時間の調整など事前準備をしっかりとしなければならない。